



ECHO SYSTEM

取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

Introduction

この度は、Empress Effects の Ecosystem をあなたのサウンドの一部に加えてくれたことに感謝しています。この Ecosystem を使用することで、新しく、驚くべきテクスチャーをあなたは体感すると確信しています。

このペダルの開発にあたって、ユーザーが望むサウンドを最小の操作で素早く達成できることが、とても重要視されました。十分に用意された設定に関する様々なオプションは、あなた好みのサウンドに本機をカスタマイズすることができるでしょう。

もしこのマニュアルで不明な点があれば、モードごとに用意されているチュートリアル・ビデオを参照にしてください。動画で見ることが、いくつもの言葉を並べるよりわかりやすい事は多いものです。

また Empress Ecosystem のファームウェアは SD カード経由で簡単にアップデートすることができるよう設計されています。もし将来のファームウェアにご意見があれば、ぜひそれを聞かせてください！

この Ecosystem がもしあなたをスーパースターにしてくれるようなサウンドを作りだしたのなら、私たちがバックステージにご招待してくれる事をどうぞお忘れなく！！



Jason Fee - Designer



Steve Bragg - Designer

電源について

9VDC 電源（センターマイナス）で動作します。**必ず 300mA 以上の AC アダプターでご使用ください。**

*本製品は独立した AC アダプタ(または完全アイソレートされたパワーサプライ)をご利用ください。

デジィチェーンケーブル(分岐ケーブル)でのご使用は推奨いたしません。

Features

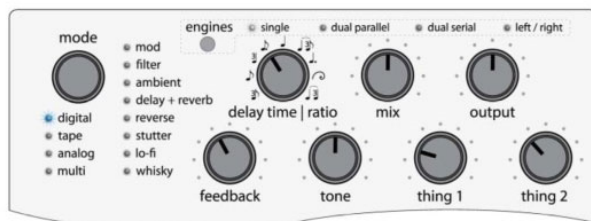
- 36タイプ以上のスタジオ品位のアルゴリズムを搭載 - 12のベーシックなアルゴリズム・タイプは、パネル上の MODE セレクトでセレクトが可能。さらに各モードには複数のバリエーションが用意され、LED の色で識別可能です。
- ビンテージ&クラシック・サウンド - クラシックなテープ・ディレイやアナログ・ディレイの有機的なサウンドの質感を完璧に再現。VMSD で高い評価を得ていたアルゴリズムをさらに進化させ、Echoplex や RE-201 などのテープエコー・マシン、BBD 素子によるアナログ・ディレイ、真空管、Deluxe Memory などの往年の名機のサウンドも再現。
- 素早く理想のサウンドに近づくノブ・コントロール - ギタリストの求めるシンプル操作。煩わしく設定に時間のかかるディスプレイ表示のメニュー構造ではなく、一目瞭然に分かりやすく、直感的な操作を可能とするノブによるコントロールを徹底。
- タップ・ファンクション - あらゆるサブ・ディビジョンが用意されたタップテンポによるディレイタイム設定。マルチタップ(リズム・ディレイ)が可能モードも搭載。もちろんノブによるディレイタイム設定も可能です。
- ローノイズ・シグナル・パス - スタジオ機器並みの最高音質設計。SN 比は何と >104dB を達成しています。
- デュアル・ディレイ・エンジン - 2タイプの異なるディレイ・エンジンを搭載を、シリアル、パラレル、または L/R モードで使用可能。
- 最大 35 のプリセット - 各セッティングを最大 35 までプリセット。3 つのフットスイッチで各プリセットに素早くアクセス。
- 2タイプのプリセット・モード - バンク・スタイル、またはスクロール・スタイルをお好みに応じて選択可能。
- バイパス・モード切替 - ディレイ効果を切り替えるためにトゥルー・バイパスとバッファード・バイパスを選択可能。フットスイッチをディレイをオフにした後に、ディレイ音を残す印象的なプレイも可能です。
- キャビネット・シミュレーター - 3タイプの極めて優れた、Empress クオリティの”キャビネット・シミュレーター”(Off/Bright4x12cb/Dark Vintage cab/Balanced Modern cab) を搭載。アンプのない場合にライン出力でアンプサウンドを実現したり、レコーディングでも活躍。
- 出力トランスフォーマー - 2つのアンプを使用したステレオ・オペレーションでもハムノイズのない、プロフェッショナルな機材環境を実現。Output2 はトランスフォーマーによりアイソレートされ、グラウンドループを除去(設定で on/off 可)。
- ハイクオリティ・オーディオ - 32bit 内部演算処理を採用した、スタジオ・クオリティ 24bit/48kHz のプロセッシング採用。トーンが引き立つ高品位ディレイ・サウンドに貢献。
- アナログ・ドライ・パス - ドライ信号は 100%ピュアなまま、ウェット信号と VCA によりブレンド。音質劣化が全くありません。
- あらゆる外部コントロール信号からの制御が可 - ユニバーサルなコントロール・ポート(“1/4 標準ジャック”)を装備。エクスプレッション・ペダルや外部タップスイッチ、外部オーディオ入力、コントロール・ボルトテージ(CV)、MIDI などを接続可能。
- アドバンス設定メニュー - アドバンス設定メニューから様々な設定をモディファイ可能。バイパスモードやプリセット数、MIDI 設定、コントロールポート、キャビネット・シミュレート、入力 PAD、ノブ・ロック、ステレオ出力設定、ステレオ・ワイド調整、スタートアップなどの設定のモディファイが可能。
- コンパクト設計 - 多くの機能をパワフルに搭載しながらも、圧倒的な高音質設計を、コンパクトサイズ(14.5×9.5×4.5cm)の超コンパクトボディに凝縮。

Quick Start サンプル・セッティング

すべてのモードはノブを真ん中の 12 時くらいに設定した時が基本となるサウンドです。

その位置から希望のサウンドを探してみてください。

Clean Digital Delay – Dotted Eighthths



Warm Analog Delay



Delay and Reverb



Echoplex



コントロールの詳細

power

9VDC 電源(センターマイナス)で動作します。**必ず 300mA 以上の AC アダプターでご使用ください。**

*本製品は独立した AC アダプタ(または完全アイソレートされたパワーサプライ)をご利用ください。

デジチェーンケーブル(分岐ケーブル)でのご使用は推奨していません。

mode selector

左上のノブはロータリー式のエンコーダーとなっており、Echosystem の各モードを切り替えることができます。エンコーダーは両方向に回すことができ、回すたびに LED 位置が移動して現在のモードを示します。またモードにサブモードがある場合には LED の色が変わることによってサブモードのタイプを知ることができます。後記のモードのリファレンス・チャートをご覧くださいと分かりやすいと思います。

また、「デュアル・エンジン」を使用している場合には、スイッチを押すことでアクティブなエンジンを切り替えることができます。

engines

押すたびに 4 つのルーティング・モードを切り替えトグルすることができます(mode selector を押してエンジンをアクティブにします)

delay time/ratio

ディレイ・タイムをコントロールします。タップ・フットスイッチからのディレイタイムの入力時には、入力されるテンポのレシオ設定が可能です。符点ディレイなどの印象的なプレイを可能にします。レシオは、左から順番にノブのポジションで、【6 連符】→【8 分音符】→【3 連符】→【付点 8 分音符】→センターポジションが 1:1【4 分音符】→【2 拍 3 連符】→【付点 4 分音符】→【Golden Ratio(*)】→【4 拍 3 連符】で変化します。

*ゴールデン・レシオ → 「黄金比」、「フィボナッチ数」とも呼ばれる 1.618:1 のレシオ。自然界の中に多く実在する比率で、美しいデザインなどにも応用されることが多い。

mix

最小ポジションでドライ音のみ、最大ポジションでエフェクト音のみとなります。50/50 ポジションは約 2 時の方向です。

output

output ノブで出力ボリュームを調整できます。ユニティーゲインはノブが 12 時の位置です。

feedback

ディレイのフィードバックを調整します。

tone

ディレイ音のトーン調整が可能です。ノブが 12 時の位置がニュートラル・ポジションです。

thing1 & thing2

thing1 ノブと thing2 ノブは、選択されたモードによってそれぞれコントロールするパラメーターが異なります。各モードの解説や、モードのリファレンスチャートなどをご参照ください。

tap

tap フットスイッチ (パネル左側のフットスイッチ) は、ディレイタイムのタップ入力に使用します。

また、プリセットの呼び出しを決定する場合に使用します。Scroll フットスイッチで希望のプリセットを選択した後に、この Select フットスイッチを押すと、プリセットを確定して呼び出します。

また、tap フットスイッチを長押ししながら、engines スイッチを押すと、現在アクティブになっているディレイのテンポ設定を、もう一方のディレイ・エンジンに送り同期することができます。

shift

shift スイッチ (黒い小さなスイッチ) は、他のボタンやフットスイッチ、ノブと同時に押すことで、様々な機能の保存や設定に使用します。

- shift + engine スイッチ → 基のエンジンの順番を逆にできます
- shift + mode セレクター → デュアル・エンジン使用時に各エンジンのソロをモニターすることができます
- shift + 各ノブ → エクスプレッション・ペダル使用時のアサイン
- shift + tap フットスイッチ → ディレイタイム・ソースの選択
- shift + scroll → プリセットの保存

【プリセットの保存】

- 1、保存をしたサウンド設定をノブで設定します
- 2、保存したいプリセットに LED をスクロールします
- 3、Shift ボタンを押したままの状態
- 4、(Shift ボタンを押しながら) Scroll フットスイッチを押します
- 5、Shift ボタンと Scroll ボタンから手を離すと保存されます

【エクスプレッション・ペダルの設定】

- 1、エクスプレッションペダルがヒールポジション(かかと側)の時に設定したいノブ位置にあわせませ
- 2、Shift ボタンを<長押し>します
- 3、**(Shift ボタンを押し続けたままで)**次にエクスプレッションペダルがトゥポジション(つま先側=踏込んだ状態)の時に設定したいノブ位置にあわせませ
- 4、Shift ボタンから指を離します

scroll

scroll フットスイッチ(真中のフットスイッチ)は、プリセットを表す LED を移動させるのに使用します。希望のプリセットまで移動したら、tap フットスイッチを踏んで決定します。

bypass

バイパス・スイッチです。バイパスモードはアドバンス設定で、トゥルーバイパス、バッファードバイパスのいずれにも設定できます。



HOLD 機能を使った演奏について

Empress Ecosystem にはディレイ音を持続させることのできる HOLD 機能が使えるモードもございます。

HOLD 機能を使用するには **Tap フットスイッチを押しっぱなし**にします。印象的なディレイプレイに最適ですので、ぜひ一度お試しください。(HOLD 機能が使用できないモードもございます)

ディレイ・タイムの設定

ディレイタイム・ソースを変更するには、shift ボタン(黒い小さいボタン)を押しながら、同時に tap フットスイッチを押します。押すたびにタップテンポを表示する LED の色が変わり、以下のディレイタイム・ソースを表わします。

1、Local Tap (LED の色が赤)

タップフットスイッチからのテンポ入力を可能にします。Delay time | ratio ノブで設定されたレシオ値によって、実際のタップテンポに対するディビジョンが設定できます。これらの総合的なプリセット設定はプリセットにも保存されます。

【タップテンポ入力の Ratio 設定について】

タップ・フットスイッチからのディレイタイムの入力時には、入力されるテンポのレシオ設定が可能です。符点ディレイなどの印象的なプレイを可能にします。レシオは、左から順番にノブのポジションで、【6 連符】→【8 分音符】→【3 連符】→【付点 8 分音符】→センターポジションが 1:1【4 分音符】→【2 拍 3 連符】→【付点 4 分音符】→【Golden Ratio(*)】→【4 拍 3 連符】で変化します。

*ゴールデン・レシオ → 「黄金比」、「フィボナッチ数」とも呼ばれる 1.618:1 のレシオ。自然界の中に多く実在する比率で、美しいデザインなどにも応用されることが多い。

2、Global Tap (LED の色が青)

Local Tap 同様にタップ・フットスイッチからのディレイタイムを RATIO ノブの設定でディビジョン設定しますが、Global Tap モードの場合は、他のプリセットで Global Tap が選択されている場合は、一貫して同じタップテンポ値が適応されます。モードを切り替えても同じ基本タイムを使用したい場合に便利です。

3、Knob (LED の色が緑)

Delay time | ratio ノブでディレイタイムをダイレクトに設定します。可変範囲は 20ms~1.2s が標準です(モードにより多少の違いがあります)

マルチ・タップの設定

マルチタップモード(multi)は、5 タップまでのリズム・シーケンスを入力できるモードです。LED がリズムで点滅します。レシオ値が適応されると、2 秒間ほど一時停止します。マルチタップモードは独自の Global Tap を持ちます。

デュアル・ディレイ・エンジンの使用

Ecosystem は 2 基のディレイ・エンジンを搭載しており、それらを 1 つだけ使用したり、複合してクリエイティブで複雑なディレイ・サウンドを作り出すこともできます。また 2 基のディレイ・エンジン使用時にはその接続方法を**パラレル**、**シリアル**、**L/R ステレオ**で変更することも可能です。接続方法でまるで異なるディレイサウンドを創造可能です。

デュアル・エンジンを使用時には 2 つのモード LED が点灯します。MODE ノブをプッシュ(押す)度に、2 つのディレイ・エンジンをトグルします。LED が明るく点灯する方が現在アクティブな側のディレイ・エンジンで、ノブやスイッチの変更が有効です。

【2 つのエンジン間のディレイタイムの同期について】

Tap フットスイッチを押しながら、engines ボタンを押すことで、現在アクティブな側(LED が明るく点灯している方)のディレイタイム設定を、もう片方に同期させることができます。ディレイタイムは各レシオ設定値を反映しない(タップテンポで入力された通り)テンポです。よって送られたテンポは、送られた先(LED が暗い側)のモードのレシオ設定でディビジョンされます。同じレシオ設定にモードを合わせた場合は LED の点滅も同じになります。

また LED が緑のモード(Knob)の場合は、ノブ自体がテンポを設定していますので当然ノブの位置が優先されます。

たとえば、LED 緑(Knob)→LED 赤(Local) または LED 青(Global)へはディレイタイムを送ることができますがその逆、LED 赤(Local) または LED 青(Global) →LED 緑(Knob)へはディレイタイムを送ることはできません。

また同様に、LED 緑(Knob)→LED 緑(Knob)の場合もそれぞれのノブ位置が優先されます。

【各エンジンの SOLO 試聴について】

デュアル・エンジンを使用している場合に、一方だけのエンジンのサウンドを確認したい場合があります。その場合には LED が暗い側の非アクティブな方のモードを一時的にミュートすることができます。Shift ボタンを押しながら Mode ノブをプッシュ(押す)すると、アクティブな側のディレイ・エンジンが点滅して、選択したエンジンのサウンドを SOLO で聴くことができます。もう一度 Shift ボタンを押しながら Mode ノブをプッシュ(押す)すると、両方のエンジンが聴こえる元の状態に戻ります。

もう一方のディレイ・エンジンのソロを聴きたい場合には、一度ソロを解除してから、アクティブなエンジンを切り替えてから、再度 SOLO 試聴を行ってください。

【2 つのエンジンの順番変更について】

shift ボタンを押しながら、engines ボタンを同時押しすることで、2 つのディレイ・エンジンの順番を切り替えることができます。

モードのリファレンス・チャート

各モードは「MODE SELECTOR」を回すことで選択する事ができます。また LED の色によってもモードを識別可能です。各モードで、Thing1 と Thing2 の 2 つのノブに割り当てられる機能が変化します。“MODE REFERENCE CHART”では、本マニュアルが作成された時点での各モードの特徴と機能の早見表です。本機は PC からダウンロードした新しいファームウェアを SD カード経由でアップデートし、新たなモードを加えられるよう設計されています。

★新たに追加されているモードや機能については、以下の「ファームウェア・アップデート」ページに情報を記載しております。

<http://umbrella-company.jp/empress-effects-echosystem-firmware.html>

Mode	Description	Thing 1	Thing 2
Digital			
● Pristine	クリーンなデジタル・ディレイ	モジュレーション	モジュレーション・エフェクトのスピード
● Short Stuff 1980	入力タップテンポ×8倍に乗算。ショートディレイ・スラップバックサウンド	モジュレーション	周波数レンジのコントロール
● Ping Pong	ステレオ・ピンポン・ディレイ	モジュレーション	モジュレーション・エフェクトのスピード
● Dynamic Duck	入力大きい時にエフェクト音を小さくします。フレーズを明瞭に聴かせつつ、ロングトーンではディレイ音を深くできます。	ダッキング・アマウント。右に回すほどディレイ音は小さくなる	ダッキングのリリースの早さを調整。左で速く、右で遅くなる。
● Dynamic Feedback	フィードバック信号が入力信号によってコンプレッションされます。入力大きいとフィードバックを少なくします	フィードバックのゲート量。右回して効果が強くなる	スレッシュホールド設定。右方向で効果が強くなります。
Tape			
● New Tape	コンディションの良いテープエコーの音質を再現	モジュレーション・エフェクトの深さ	モジュレーション・エフェクトのスピード
● Old Tape	古いテープエコーの音質を再現	モジュレーション・エフェクトの深さ	モジュレーション・エフェクトのスピード
● Echoplex	ビンテージ Echoplexの音質を再現	サチュレーション	モジュレーション・エフェクトの幅
● Space Echo	ビンテージ RE-201 Space Echoの音質を再現	インプット・ドライブ	モジュレーション・エフェクトの幅
Analog			
● BBD	BBDによるアナログディレイのサウンドを再現(MAXON AD9)	サチュレーション	モジュレーション
● Tube BBD	BBDによるアナログディレイのサウンドに真空管の特性をプラス	サチュレーション	モジュレーション
● Deluxe Memory Boy	Deluxe Memory Manの音質を再現したモード	ビブラート	コーラス

Multi	Description	Thing 1	Thing 2
● Digital Multi	マルチタップによるリズムディレイ (5タップまで可能)	バリエーション (1目盛ごとに異なる)	深さ&ステレオ・パン
● Tone Taps	各マルチタップごとに異なるトーンバリエーションを適応	バリエーション (1目盛ごとに異なる)	深さ&ステレオ・パン
● Preset Pattern Mode	シングルタップ、またはノブでマルチタップ・パターンを生成	ディレイタイム・パターン (1目盛ごとに異なる)	ボリュームとパンのバリエーション (1目盛ごとに異なる)

Mod

● Panning Delay	スムーズなディレイ・ライン・パンニング	パンニングの幅	パンニングのスピード
● Trem Delay	トレモロ・エフェクトを出力に追加	トレモロの深さ	トレモロのスピード
● Waveform	LFOでディレイタイムのモジュレーションをコントロール	LFO波形のバリエーション (目盛ごと)	モジュレーションの深さとスピード

Filter

● Filter Pulse	ディレイ信号にバンドパス・フィルター効果を追加	フィルターのセンター周波数	パルス・スピード
● Filter Warp	ディレイ音量によってカットオフ周波数が変化します。	フィルターのセンシティブティ	フィルター・スイープのレスポンス・スピード
● Swoosh Echo	独特な“Swoosh”フィルター効果	モジュレーション	スピード

Ambient

● Drunk Ewok (lost in space)	アンビエント・パッド系のサウンド。ディレイとリバーブの間	ディレイ・パターン (目盛ごと)	ディフュージョン
● Triggered Swell	幻想的なSwell(うねり)をフレーズにフェードさせます	Swell タイム	モジュレーション
● Triggered Multi Swell	マルチタップが可能なSwellモードです	Swell タイム	フランジャー
● Long Delay	ノブで最大8秒間のロングディレイタイムを設定できます	モジュレーションの深さ	モジュレーションのスピード

Delay + Reverb	Description	Thing 1	Thing 2
● Hall	ディレイ + ホール・リバーブ	リバーブ・ミックス	リバーブのディケイ・タイム
● Plate	ディレイ + プレート・リバーブ	リバーブ・ミックス	リバーブのディケイ・タイム

Reverse

● Reverse Delay	スタンダードなリバース・ディレイ。コンプレッサー機能あり	高域のロールオフ設定	コンプレッション・アマウント
● Reverse Dual Pitch	2系統のピッチシフト・リバース・ディレイ (unity, +-10 cents, +-4th, +-5th, +- octave)	delay1のピッチ設定	delay2のピッチ設定
● Triggered Reverse	トリガーが検知されるとSwellタイムがリバースをリセットする、トリガー式のリバース・ディレイ	Swellタイム	コーラス・エフェクト・レベル

Stutter

● Chop Mode	入力信号をオンとオフに刻んでからディレイに送る	CHOPスピード	モジュレーション
● Auto Stutter	信号を検知するとStutter効果を加える。フィルターがセットされている間Stutter効果がリピートする。Feedbackノブでディストーションを調整できます	フィルター・シーケンス・バリエーション (ノブの一目盛ごとに異なるパターン)	フィルターのアグレッシブさを調整

Lo-Fi

● Old Timer	Lo-Fi ディレイにレゾナンス・フィルターを融合	Oldness	Break-Upアマウント
● Digital Death	ロボット・エイリアス	エイリアシングの周波数	エイリアス・ブレンド

Whisky	Description	Thing 1	Thing 2
● Knobs' Seesaw	2系統のディレイライン。入力信号がスレッシュホールド値を超えるともう一方のディレイラインに切替を行います。	信号レベルが低い場合のピッチ設定	信号レベルが大きい(スレッシュホールドを超える)時のピッチ設定
● Christopher Glitchens	2系統のピッチシフト・ディレイライン。ピッチは-1オクターブから+1オクターブまで連続可変できます	Delay1のピッチ	Delay2のピッチ

ご注意

上記の“MODE REFERENCE CHART”では、本マニュアルが作成された時点での各モードの特徴と機能の早見表です。本機はPCからダウンロードしたあたらしいファームウェアをSDカード経由でアップデートし、新たなモードを加えられるよう設計されています。*ご購入時点ですでに新しいモード追加がございますので、以下のリファレンスチャートには掲載されていない新しいモードがございます(LEDの色のバリエーションが多い)。「ファームウェアのアップデート」の項をご覧ください。

★各モードとサブモードの詳細説明を、弊社のホームページ上で、サウンドサンプルや動画と共に詳しく説明しています。詳細は以下 URL でご確認ください。

www.umbrella-company.jp/empress-effects-echosystem-mode.html

★新たに追加されているモードや機能については、以下の「ファームウェア・アップデート」ページに情報を記載しております。

<http://umbrella-company.jp/empress-effects-echosystem-firmware.html>

ファームウェアのアップデート

本機は SD カード経由でファームウェアのアップデートが簡単に実行できるようデザインされています。

このことにより、常に新しいパッチを含んだ最新のファームウェアを取り入れることが可能です。

1、最新のファームウェアを

<https://empresseffects.com/pages/echosystem-firmware>

からダウンロードします。

2、ファイルを SD カードの root にコピーします。SD カードは FAT32 フォーマットされたものが必要です。

3、SD カードを Empress Reverb のスロットにセットしてから、電源を接続してください。

4、PresetLED が黄色に光った後、アップデートが終了すると、すべての LED が緑色に変わります。

5、SD カードをスロットから抜き、一度電源を落としてから、再度電源を入れることで、アップデート作業は終了です。

SD カードについて

SD カードは必ず V2 High Speed のものをご利用ください。 一般的に以下のようなマークのあるものです。対応していない SD カードでは LED が点滅してエラーを示します。



SD カードには必ずパーティションが 1 つしかない状態にしてください。

ファームウェア・アップグレード時のエラーについて

Preset LED が点滅する場合はエラーとなっています。以下のような場合 LED がエラーを示します。

- 1、不安定なカード
- 2、V1 カード
- 3、V2 スタンダードカード
- 4、ディスクを読むことができません
- 5、有効な FAT ボリュームが SD カードにありません

■ 最新のファームウェアに関する日本語の情報は、弊社のホームページの製品ページからご覧いただけます。

<https://empresseffects.com/pages/echosystem-firmware>

プリセットについて

Ecosystem には、「スクロール・プリセット・システム」または、「バンク・プリセット・システム」の 2 タイプのプリセット・システムが用意されています。プリセット・システムは、後記するアドバンス設定で選択可能です。

1,スクロール・プリセット・システム

・スクロール・プリセット・システムの詳細

まず最初に【アドバンス設定】では、希望のプリセットの数を設定できます（後記*アドバンス設定の章をご覧ください）。最大で 35 プリセット（5 プリセット × 7 バンク）まで希望のプリセット数に設定することが可能です。またプリセット・システムの変更も同じく【アドバンス設定】で行います。後記するアドバンス設定の章を参照してください。

各プリセットはノブの下にある 5 つの LED の色と数で視覚的に確認できます。〈Scroll フットスイッチ〉を押すたびにプリセットを切り替えていく事ができます。5 つの LED を通過し、6 個目のプリセットに切り替わる際には LED の色が変わり次のバンクであることを示します。LED の色は青（プリセット 1～5）→緑（6～10）→赤（11～15）→黄（16～20）→水色（21～25）→紫（26～30）→白（31～35）と切り替わり、最後のプリセットを通過する際には、全ての LED が点滅した後に LED の点灯しない状態になります。この状態は「マニュアル・プリセット」で、現在のパネル上のノブの設定が再現されます。もう一度〈Scroll フットスイッチ〉を押すと、最初のバンクに戻ります。

またプリセットのスクロールは、〈Tap フットスイッチ〉と〈Scroll フットスイッチ〉を同時に押すことで、逆にスクロール（戻る）こともできます。

・プリセットの保存（スクロール・プリセット・システムの場合）

現在のセッティングをプリセットに保存するには、まず最初に保存したい希望のプリセットまで〈Scroll フットスイッチ〉で LED を送ります。LED が点滅している間に、〈Shift ボタン〉（黒い小さいボタン）を**押しながら**、〈Scroll フットスイッチ〉を押します。これでプリセットが保存されます。

・プリセットの呼び出し(スクロール・プリセット・システムの場合)

プリセットを呼び出すには、呼び出したいプリセットまで<Scroll フットスイッチ>で LED を送ります。LED が点滅している間に、<Tap フットスイッチ>を押します。これでプリセットが呼び出されます(LED が点滅から点灯に変わります)。

・プリセットの変更(プリセット/バンク・システム共通)

プリセットを呼び出した後に、ノブの位置を変更した場合は、プリセットを表している LED が少し暗い点灯に変わります(新しい変更は保存されていません)。ノブの位置を保存されているオリジナルのポジションに再度あわせると、LED の点灯は明るくなるので、ノブ位置を変更した後もオリジナルのノブ位置(保存を行った時の状態)に戻ることが可能です。

2,バンク・プリセット・システム

・バンク・プリセット・システムの詳細

まず最初に【アドバンス設定】では、希望のバンクの数を設定できます(後記*アドバンス設定の章をご覧ください)。

プリセット・システムの変更も【アドバンス設定】で行います。後記するアドバンス設定の章を参照してください。

バンク・プリセット・システムでは、<scroll>と<bypass>の **2つのフットスイッチ**でプリセットを切替えます。つまり各バンクごとに、2つのプリセットが選択できるということです。バンクを切り替えるには<scroll フットスイッチ>と<bypass フットスイッチ>を同時に押します。バンクを切り替えると LED の色が変わり、色ごとに異なるバンクを表わしています。

・プリセットの呼び出しとバイパスについて(バンク・プリセット・システムの場合)

プリセットを呼び出すには<scroll>と<bypass>の 2 つのフットスイッチのどちらかを押します。選択されたフットスイッチの上の LED と、バイパス LED が点灯します。ペダルをバイパスさせたい場合は(Bypass スイッチはプリセットの呼び出し用に使用していますので)、現在プリセットの LED が点灯しているフットスイッチ(現在呼び出されているプリセット)のフットスイッチをもう一度押してください。バイパス LED が消灯し、エフェクトがバイパスされたことを表します。

・バンクの変更(バンク・プリセット・システムの場合)

バンクを変更したい場合は、**<scroll>と<bypass>の2つのフットスイッチを同時に押してください。**<scroll フットスイッチ>と<tap フットスイッチ>を同時に押すと LED の色(バンク)を逆向きにトグルすることができます。希望するバンクの色までトグルしたら(LED は決定されるまで点滅しています)フットスイッチを押すとプリセットがロードされます。

・プリセットの保存(バンク・プリセット・システムの場合)

現在のセッティングをプリセットに保存するには、まず最初に保存したい希望のバンクの LED を選択し、LED が点滅している間に、<Shift ボタン>(黒い小さいボタン)を**押しながら**、<プリセットを保存したいフットスイッチ>を押します。これでプリセットが保存されます。

・プリセットの変更(プリセット/バンク・システム共通)

プリセットを呼び出した後に、ノブの位置を変更した場合は、プリセットを表している LED が少し暗い点灯に変わります(新しい変更は保存されていません)。ノブの位置を保存されているオリジナルのポジションに再度あわせると、LED の点灯は明るくなるので、ノブ位置を変更した後もオリジナルのノブ位置(保存を行った時の状態)に戻ることが可能です。

3, 外部 TAP スイッチを加えたバンク・プリセット・システム

Empress Effects Echosystem の tap フットスイッチはディレイタイムの設定に必要なため、通常はバンクプリセットの切り替えには使用せず、各バンクごとに2つのプリセット切り替えが標準です。しかしながら、外部タップスイッチ(別売)を用意し、ディレイタイムのタップテンポを、コントロールポートに接続した外部フットスイッチから入力できるように設定した場合は、本体の<tap>、<scroll>、<bypass>の3つのフットスイッチを使用した、各バンクごとに3つのプリセット切り替えを実現できます。

【アドバンス設定】のコントロールポート設定で、使用するフットスイッチの仕様に応じて、“Normally-Open Tap Switch”、または“Normally-Closed Tap Switch”のいずれかを選択して、外部フットスイッチをコントロール・ポートに接続してください。

本体の3つのフットスイッチをプリセット切り替えに、外部タップスイッチをディレイタイムのタップテンポ入力に利用できます。この構成で、ディレイタイム・ソースを変更する場合には、shift ボタンを押しながら外部タップスイッチを押して変更してください。

コントロール・ポートについて

リアパネルにあるコントロール・ポート(ジャック)には、いくつかのデバイスやソースを接続する事ができます。出荷時にはエクスペッションペダルを使用できる設定となっておりますが、アドバンス設定(後記)でセッティングすることで、CV(コントロール・ボルトテージ)、タップスイッチ、MIDI デバイスなどを接続する事も可能です。

エクスペッション・ペダル

モードノブ以外の全てのノブのパラメーターを、エクスペッション・ペダルを使って同時に動かすことが可能です。複数のノブを希望のレンジで一斉にコントロールすることができるため、たいへんクリエイティブで、ダイナミックなサウンドメイクを可能にしています。

設定はまず、エクスペッションペダルがヒールポジション(かかと側)の時に設定したいノブ位置をあわせ、その状態で shift ボタンを<長押し>します。**shift ボタンは押し続けたままで**、エクスペッションペダルがトゥポジション(つま先側=踏込んだ状態)の時に設定したいノブ位置にあわせませす。shift ボタンから指を離すと設定は有効になります。複数のパラメーターを設定したい場合には、**この作業を各ノブごとに繰り返して設定してください**。各パラメーターごとにそれぞれのヒール&トゥ・ポジションを設定可能です。

<ご注意>複数のパラメーター(ノブ)をエクスペッションペダルに設定する際には、パラメーター(ノブ)を1つずつ設定していく事をお勧めいたします。同時に多くのパラメーターを設定する事も可能ですが、プロセッシング能力を超える情報が一度に送られる場合に、稀にフリーズする可能性があります。

エクスペッション・ペダルからのコントロールからノブを開放したい場合には、パラメーターをコントロールしているノブを一度動かしてください。ノブを動かすことで、そのノブのパラメーターがエクスペッション・ペダルから**制御されなくなります**。

仕様できるエクスペッション・ペダルは、Tip=シグナル、Ring=パワー、Sleeve=グラウンドの、一般的なタイプです。

CV(コントロール・ボルトテージ)

本機は、モジュラーシンセサイザーなどの 0-5V の CV 信号からコントロールする事もできます。パラメーターの設定方法はエクスペッション・ペダルと全く同じですので、前項をご参照ください。

外部タップスイッチ

本機は、ノーマリー・オープンまたはノーマリー・クローズの外部スイッチを使用できます。スイッチは tap フットスイッチのオペレーターに使用できます(プリセットの確定=ロードには使用できません)。

MIDI

本機の全てのパラメーターは、MIDI のコントロール・メッセージからコントロールする事ができます。本機で MIDI を使用する場合には、別売の Empress Effects/ MIDI BOX が必要です。プリセットもプログラム・チェンジ・メッセージでセレクトが可能です。テンポは MIDI クロック・メッセージからコントロールが可能です。

1、Empress MIDI BOX(別売)と本機の Control Port を標準(1/4")のパッチケーブルで接続します。MIDI 出力メッセージを送る場合には TRS フォンケーブルが必要です。

2、アドバンス設定で MIDI コントロールと MIDI チャンネルの設定を行ってください(後記:アドバンス設定の章を参照)。MIDI チャンネルは他の MIDI 機器がある場合には重ならないように設定してください。

【MIDI からのプリセットの呼び出し(Program Change Message)】

MIDI プログラム・チェンジ・メッセージを送ることでプリセットをアクティブにすることが可能です。例えば「7」というプログラム・チェンジ・メッセージを送ると、プリセットの 7 番を呼び出します。

【MIDI とプリセット・アウト】

本機は、プリセットがロードされる際に、コントロール・ポートのリング端子から MIDI プログラム・チェンジを出力することができます。本機は現在の MIDI チャンネルより上の 4ch をプログラム・チェンジとして送出します。

例えば、もし本機が MIDI チャンネル 5 に設定されていて、プリセット 3 がロードされている時、本機は MIDI チャンネル 6、7、8、9 から、MIDI プログラム・チェンジ 3 を出力します。

【MIDI ビート・クロック】

タップテンポ入力を MIDI クロック・メッセージに反映させることができます。MIDI クロックは 4 分音符で指定され、24 の MIDI メッセージにサブディバイドされます。本機のディレイタイムは 4 分音符単位での設定となります。

【MIDI コントロール・チェンジ】

本機は、MIDI コントロール・チェンジ・メッセージからコントロール可能です。以下の MIDI コントロール・チェンジのリファレンスを参照にしてください。

MIDI CONTROL CHANGE MESSAGES REFERENCE

Echosystem Parameter	CC#		Note:
	Engine A	Engine B	
Modes	100	109	<p>モードとサブモードは数字の0からスタート (Digital=0、Tape=1・・・と続きます)、モードとサブモードを単体の数字であらわす場合は、以下の式に従ってください。</p> <p>MIDIメッセージの値=(Mode × 8) + サブモード</p> <p>例) 2つめのTAPEモードの場合、(1 × 8) + 1 = 9、CCメッセージは9を送ります。</p>
Delay Source	101	110	0-ノブ、1-ローカル、2-グローバル
Delay Time / Ratio	102	111	<p>ノブが反時計回りに回し切りの状態は値が「0」、ノブが時計回りに回し切りの状態は値が「127」に相当します。</p>
Mix	103	112	
Volume	104	113	
Feedback	105	114	
Tone	106	115	
Thing 1	107	116	
Thing 2	108	117	
Engage / Bypass	60		0-バイパス、127-エンゲージ
Recall Preset	11		プリセット番号をロードするために、プリセット番号を送ります。
Simulate Expression Pedal	10		0-127でエクスペッション・ペダルのスイープをシミュレートします。
Routing Mode	118		0 - Trails, 1 - Parallel, 2- Serial, 3 - Left/Right
Left Stomp - Tap	35		

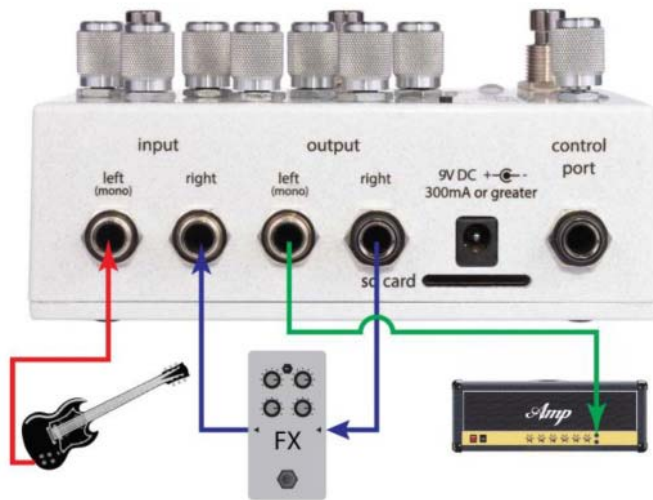
Middle Stomp – Scroll	36		値が「64」を送るとスイッチを押した状態をシミュレート、「127」でスイッチを押しこんだままの状態(HOLD)となり、「0」が送られるとスイッチを離した状態をシミュレートします。
Right Stomp – Bypass	37		
Shift Button	38		
MIDI Clock Listener	51	52	値が「0」を送るとMIDIクロックを無視します。「127」でMIDIクロック・メッセージを受信するようになります。初期設定ではMIDIクロックを受けよう設定されています。

【Additional MIDI Control Change Notes】

- ・本機がアドバンス設定にセットされている時は MIDI スイッチングはできません
- ・マニュアル・プリセットは、バンク・プリセット・システムを使っている場合は使用できません。

ハードウェア・インサート

Empress Echosystem では、ハードウェア・インサートを利用して、ディレイ・ラインに外部のエフェクターをインサートすることも可能です。後記する”アドバンス設定”で、”ハードウェア・インサート・モード”を有効にし、以下のように接続することで可能になります。



、”ハードウェア・インサート・モード”では、Echosystemは MONO 仕様となります。

アドバンス設定について

アドバンス設定によって、Empress Echosystem に多くの機能や可能性を与えることが可能です。バイパスモードの切り替えや、コントロールポートの設定、入力 PAD、プリセット・システムの切替、有効プリセット数、各種 MIDI 設定、ノブのロック機能、信号設定、起動時の設定、ステレオ・イメージの調整、そしてライン出力時にも本物のアンプを鳴らしたようなサウンドを出力できる「キャビネット(スピーカー)・シミュレーター」の機能も追加する事が可能です。

アドバンス設定モードへの入り方

<tap フットスイッチ>と<bypass フットスイッチ>を**同時に押しながら**、<shift ボタン>を押します。全てのプリセット LED が黄色に数回点滅し、アドバンスモードに入ったことを知らせます。

アドバンス設定モードでの操作方法

<モード LED>は変更できる項目(以下表での“設定項目”欄)を示します。MODE ノブ(ロータリー・エンコーダー)で変更したい LED の位置を選択してください。

セッティングを変更する場合には、**delay time | ratio ノブ** を使用します。

プリセット LED が現在選ばれている値を示しています・








例) モード LED が青色の **digital モード**の場所に点灯している場合は、『バイパス・オペレーション』の設定を行えます。もしプリセット LED が1番目の LED 点灯の場合には「トゥルーバイパス」、2番目の LED の場合には「バッファード・バイパス」、3番目の LED の場合は「バッファード・バイパス with アイソレーション・トランスフォーマー」が選ばれている状態です。<mode ノブ>を回して次の **tape モード**の場所に点灯している場合は、今度は『コントロール・ポート』の設定が行えます。

アドバンス設定モードを終了する

希望の設定が完了したら、<Tap フットスイッチ>と<Bypass フットスイッチ>を**同時に押しください**。変更した設定を保存してアドバンスモードを終了します。プリセット LED が黄色に数回点滅し、アドバンスモードを終了したことを知らせます。本体が再起動するので少しの間お待ちくださいからご使用ください。再起動して tap フットスイッチの隣のデレイタイムを表わす LED が点滅するまで必ずお待ちください

アドバンス設定の設定項目一覧

*は工場出荷時の設定です

設定項目	モード LED	プリセット LED
バイパス・オペレーション	 digital	1、トゥルー・バイパス 2、パッファード・バイパス * 3、パッファード・バイパス w/右チャンネルの出力にのみ アイソレーション・トランスを追加 (ステレオ・オペレーションの設定時)
コントロール・ポート	 tape	1、エクスプレッション・ペダル * 2、コントロール・ボルテージ(CV) 3、ノーマリー・オープン・スイッチ 4、ノーマリー・クローズ・スイッチ 5、MIDI 6、MIDI with プリセット出力
入力PAD	 analog	1、PAD適応なし(0dB) 2、-6dB PAD * 3、-12dB PAD
プリセット・システム	 multi	1、スクロール・プリセット・システム * 2、バンク・プリセット・システム
スクロール・プリセット・システムでのプリセット数	 mod	希望のプリセット数の位置までプリセットLEDを移動させてください。
バンク・プリセット・システムでのプリセット数	 filter	希望のプリセット数の位置までプリセットLEDを移動させてください。
MIDIチャンネル *コントロールポートがMIDIに設定されている場合	 ambient	希望のMIDIチャンネルの位置までプリセットLEDを移動させてください。 例) 左から3つめのLEDが点灯の場合はMIDIチャンネルは3ch

設定項目	モード LED	プリセット LED
ノブ・ロック	 delay+reverb	1、ノブをロックしない * 2、ノブをロックする プリセットを選択した時にノブをロックして不意に設定が変わってしまうのを防止します。マニュアル・プリセット時はロックしません。
キャビネット(スピーカー)・シミュレーター	 reverse	1、シミュレーターなし * 2、Bright 4×12キャビネット 3、Dark ピンテージ・キャビネット 4、Balancedモダン・キャビネット
シグナル設定	 stutter	1、ステレオ・イン / ステレオ・アウト * 2、Wet / Dry 左チャンネルからドライ信号、右チャンネルからウェット信号を出力 3、ハードウェア・インサート・モード
起動時の設定	 lo-fi	1、バイパス状態で起動 * 2、プリセット1をロードして起動
ステレオ・イメージの拡がり	 whisky	1、通常設定 * 2、ワイド設定 (2dB) 3、ワイド設定 (4dB)

***は工場出荷時の設定です**

上記の“アドバンス設定の項目チャート”では、**本マニュアルが作成された時点での各モードの特徴と機能の早見表**です。本機は PC からダウンロードしたあたらしいファームウェアを SD カード経由でアップデートし、新たな機能を加えられるよう設計されています。*ご購入時点ですでに新しい機能の追加がございますので、以下のリファレンスチャートには掲載されていない新しいアドバンス設定項目がございます(LED の色のバリエーションが多い)。「ファームウェアのアップデート」の項をご覧ください。

★新たに追加されているモードや機能については、以下の「ファームウェア・アップデート」ページに情報を記載しております。

<http://umbrella-company.jp/empress-effects-echosystem-firmware.html>

ファクトリー・リセット

この操作を行うと全ての保存した設定やプリセットは失われます！ご注意ください！！

Empress Echosystem を工場出荷時の設定に戻したい場合には(全ての設定が失われます)、**アドバンス設定に入っている状態**で、Select と Bypass フットスイッチを Select → Bypass → Select → Bypass の順番で押します。LED の右端と左端が流れるように動きます。その後**アドバンス設定からだと**、製品が再起動した後、工場出荷時の状態に戻ります。製品が**完全に再起動するまで待つ**てからご使用ください。

*アドバンス設定に入る

→ <tap フットスイッチ>と<bypass フットスイッチ>を同時に押しながら、<shift ボタン>を押す。

*アドバンス設定から出る

→<Tap フットスイッチ>と<Bypass フットスイッチ>を同時に押す。

この操作を行うと全ての保存した設定やプリセットは失われます！ご注意ください！！

SPECIFICATIONS

Input Impedance:	1M Ω
Output Impedance:	100 Ω
Output Impedance (transformer):	600 Ω
Frequency Response (-3dB, dry):	10Hz – 50kHz
Frequency Response (-3dB, wet):	10Hz – 23.4kHz
Total Harmonic Distortion (dry):	0.09%
Total Harmonic Distortion (wet):	0.22%
Dynamic Range (dry):	106.9 dBA
Dynamic Range (wet):	105.5 dBA
Input Headroom (dry):	+10.0 dBu
Input Headroom (wet, no pad):	+0.5 dBu
Input Headroom (wet, 6dB pad):	+5.7 dBu
Input Headroom (wet, 12dB pad):	+10.8 dBu
Output Headroom:	+16.2dBu
Power Input Connector:	2.1mm Barrel Connector
Power Input Voltage:	9V
Required Current:	300mA
Height (enclosure only):	1.75"
Height (including controls):	2.25"
Length:	5.7"
Width:	3.75"
Weight:	1.5lbs